

第 5 回精華町子どもの食のあり方懇談会 会議録

名 称	精華町子どもの食のあり方懇談会[第 5 回]	
開催年月日 開催場所	平成 25 年 2 月 15 日（金） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 00 分 精華町立図書館 1 階 集会室 （精華町役場内）	
出席者名	委 員	（出席委員） 大谷貴美子、姫野良隆、曾原肇、瓦俊夫、有城義浩 吉川博文、小田英美、森田理恵、木原國夫
	事務局	（事務局） 太田教育長、竹島学校教育課長、小西担当課長補佐 土井担当係長、下田栄養士
傍聴人	5 人	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 4 回精華町子どもの食のあり方懇談会 会議録 ・ 子どもの食のあり方懇談会報告書（案） 	
議事の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会行事（教育長挨拶） <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 4 回懇談会会議記録の確認（事務局） 2 報告書の確認と修正 3 閉会 	
会議の経過	別紙のとおり	

【第5回 懇談経過】

1. 開会

- ① 大谷会長の開会宣言の後、教育長の挨拶を行った。
- ② 第4回の会議記録の確認を行った。

教育長挨拶内容

おはようございます。本日は年度末のお忙しい中、また足元の悪い中、第5回精華町子どもの食のあり方懇談会にお集まりいただきありがとうございます。 昨年の9月14日以来、4回の会議を重ねてまいりまして、食のあり方全般の話から中学校給食のあり方について、さまざまな意見をいただきました。前回の懇談会では、給食実施校の視察の報告も踏まえて、まとめの方向で話し合っていました。そこで、論点の整理もされたと思います。それらを踏まえ、事務局の方で整理を行い、報告書の原案を作成していただきました。本日は、この報告書について確認、点検をしていただき、我々に報告をしていただきたいと思っております。その報告書を尊重しながら、教育委員会としての方針を作成していきたいと考えております。その後、パブリックコメントの手続きも取っていききたいと思います。

2. 子どもの食のあり方懇談会報告書の確認・修正

報告書を項目ごとに読み上げ、確認・修正を行った。

1. 子どもたちを取り巻く食に関する環境について

○保護者の意見を述べている部分は、鍵カッコをつけてはどうか。

→「小学生の頃は、給食を通して食について知る機会が多く、苦手なものも食べることでできていましたが、中学生になり、弁当になったことで苦手なものを残してしまうことも増えた」という箇所に「」を書き加えた。

2. 小・中学校での食育等の取組について

○地産地消の精神から地元の食材を使った献立が実施されていますと述べている部分では、「精神」という表現ではなく、他の表現方法はないか。

→地産地消を進めていくという意味で「推進」という表現に修正した。

○保護者向けのお便りの配布により家庭に食の大切さを発信していますという部分では、お便りという部分がわかりにくいので、わかりやすい表現方法はないか。

→さまざまな便りの配布がされているため、『保護者向けのお便り』という部分に二重カッコを書き加えた。

○中学校の取組の中で、家庭科や保健体育等の教科の中でという部分では、書き方を統一したほうがよいのではないか。

→「科」を付け加え、家庭科や保健体育科等の教科の中でとし、統一した形に修正した。

3. 小・中学校での食育を推進するためについて

○栄養教諭(栄養職員)の配置は、5校のうち3校しか配置されていませんという部分では、配置という言葉が重複して使われているので、どちらかの配置を消してはどうか。

→最初の配置を削除し、栄養教諭(栄養職員)は、5校のうち3校しか配置されていませんと修正した。

○中学校の項目で、文章の中に「また」という文言が多く使われている。「また」を削除して、文章を作成した方がよいのではないか。

→項目中にみられた「また」をすべて削除し、改行することで、文章を読みやすく修正した。

○タイトルについて、小・中学校での食育の推進をするためとあるが、一貫したという言葉を入れてはどうか。

→「一貫」を用い、小・中学校一貫した食育を推進するためと修正した。

4. 中学校給食の実施に向けてについて

○生徒指導の問題の中での、生徒指導上課題のある学校については、課題を具体的に整理し、給食実施までに準備をしていく必要があるという部分で、生徒指導上課題のある学校についてという限定した表現では、特定の学校に限られたものとして捉えてしまうのではないか。

→中学校全体の問題点として捉えることができるよう、生徒指導上の課題を具体的に整理し、給食実施までに準備をしていく必要がありますと修正した。

○給食費未納問題の中で、給食費未納の問題は、精華町においても検討しなければならない課題と考えますという表現では、現在の精華町の給食費の納入状況が良くないとの誤解を招く恐れがある。

→現在、精華町の小学校では、給食費の未納はほとんどありませんが、厳しさを増す社

会情勢から、今後精華町においても検討しなければならない課題と考えますという表現に修正した。

5. まとめについて

○生涯にわたって食に関する知識を身につけることができるのではないかと考えますとあるが、知識だけでなく、実践力が身につくことも重要ではないか。

→生涯にわたって健全な食生活を実践することができるのではないかと考えますと修正した。

3. 報告書の提出

①報告書の修正確認後、大谷会長より教育長へ報告書が提出された。

4. 事務局より

大谷会長、曾原副会長を始め、委員の皆様には、半年間にわたり、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。本日の懇談会のまとめを踏まえ、それを尊重した形とし、行政としての一定の方向性を出し、それに向かって一つ一つ進めていきたい。

懇談会の委員任期は2年間となっているが、次年度については、中学校給食実施に向けて内部での検討、中学校との課題整理等が必要となってくる。そのため、行政として具体的な検討を進めていく中で、節目で懇談会を設け、委員の皆様にご意見をいただきたい。そして、皆様の意見は、より良い給食実施にむけて反映させていきたいと考えている。

今後の開催日時等については、会長と調整をした上で、案内をする。